



ラッキーナスビ2.5



縁をつくり、育てていこう!!

71年目の宮附、始まる

成長のためのメッセージ

メッセージの宝箱

5日(木)宮大附属中で新3年生、新2年生が参加する始業式が行われた。始業式では、校長先生をはじめ、学年代表や生徒会代表の生徒たちが、新たなスタートを迎えた全校生徒に向けてたくさんのメッセージを発信した。それらのメッセージはこれからさらなる成長を目指していく上で、様々なヒントになりうるものばかりであった。

新しい一歩を

生徒会代表の○○○○さんは、71年目を迎える宮附の新しい一歩を踏み出そうと、全校生徒に投げかけた。その一歩として「合唱を伝統から文化にしていこう。」「人権宣言のすべての条文をみんなで実現していこう。」「各学年の行事を楽しむことはもちろん、新たな発見をしていこう。」「と具体的なアクションプランを示した。最後に「冬来たりなば春遠からじ」という祖母の言葉を紹介してくれた。全校生徒で新たな一歩を踏み出し、今年度だからこそ踏み鳴らせる「足音」を残していこう。

笑顔になるあいさつを

2年生代表の○○○○さんは、3つのことを主張した。
①「笑顔で自分からあいさつをすることはもちろん、相手も笑顔になるあいさつをしよう。」「②「苦手なことから逃げることなく立ち向かっていこう。失敗からも学ぼう。」「③「先輩としての自覚をもっていこう。」

支えてくれる人の存在

3年生代表の○○○○くんは、最高学年として迎える今年の出来事すべてが「中学校生活最後」のものになるということをふまえて、①「つらいとき、苦しいときに支えてくれる仲間の存在を大切にしよう。」「②「自分を想い、あえて厳しいことを言ってくれて、自分を支えてくれる家族の存在を大切にしよう」と主張した。
自分を支えてくれる人たちの存在を自覚し、感謝することによって、自分の生活がさらに豊かなものになっていくことを示してくれた。

品のある立派な大人に

E級代表の○○○○くんは今年度の3つの目標を発表した。①「体調管理をしっかりしていこう。」「②「積極的な交流をがんばろう。」「③「1つ1つの行事に真剣に取り組もう。」「の3つである。そして、これらの目標達成を通して「品のある、立派な大人になっていきたい」と力強く主張した。
○○○くんの主張は、全校生徒が目指すべき目標を秀逸に表現していた。

交流してみませんか?

第2学年の学年集会では、水谷先生が手話で自己紹介をした。そして、問いかけた。「今の手話を見て、『意味がわからない』と感じた人『どんな意味なのか知りたいな』と感じた人、それぞれいると思います。『知りたいな』と思ったみなさん、ぜひE級生と、どんな交流してくださいますか。『わからないな』と思っただけで、自分たちの可能性を広げるチャンスがこの学校にはあります。それは交流活動です。みなさん、交流委員になってみませんか?」

縁をつくり、育てよう

山下辰弥校長先生は、全校生徒に向けて3つのことを話した。①「目標をもっていろんなことにチャレンジしていこう。みんな、同じだけの時間が与えられている。どう過ごすかは自分次第です。」「②「縁を大事にしていこう。」「縁とは育てるものだ」という言葉があります。「仲間のために自分ができることはな

いだろうか」と考えてみましょう。そうやって縁は育ち、つくられていきます。」「③「各学年に期待しています。3年生、学校を引っ張るリーダーシップを存分に発揮してください。2年生、1年生が憧れる先輩になっていってください。」「

新しい仲間と新しい学級で新しい「縁」をつくり、育てていこう。

言葉との縁も!!!

始業式だけでも、たくさんの学びがある。何かの学びがあるのではないかとワクワクして臨むことで、自分にとって大切な学びが生まれる。山下校長の言葉を借りれば「みんな、同じだけの言葉が与えられている。どう生かすかは、自分次第だ。」「
たくさんの言葉との「縁」をつくっていこう。

